

第36回立命館低炭素戦略研究会開催

パリ協定とSDGs

オープンリサーチ

パリ協定と2030アジェンダ (SDGs)

第36回低炭素戦略研究会を開催します。

今回は、藤野先生を招聘し、2015年12月に採択されたパリ協定と同年9月に採択された2030アジェンダ (SDGs) の背景と現状について演者の理解を示し今後の展望についてご紹介いただきます。奮ってご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時: 2019年6月19日 (水) 10:00~11:30

場所: A棟7階 AN720

講師: 藤野 純一氏 公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES)
都市タスクフォース プログラムディレクター 上席研究員

プロフィール

1972年生、高校時代まで吹田市から甲陽学院に通う。2000年に東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻(工学博士)修了。2100年を対象とした世界のエネルギーシステム分析に従事 (SDG7)。同年4月に国立環境研究所入所。2004年から約60名の研究者からなる日本低炭素社会シナリオ研究プロジェクトの幹事を務め、2050年までにCO2を大幅削減する社会を描いたことなどから、日本の温暖化目標値議論に関わる (SDG13)。より具体的な取り組みを模索する中、2010年10月から「環境未来都市」構想有識者委員会の委員としてコンセプトづくりに関わり、環境未来都市選定の評価や選定された都市のアドバイス活動を通じてSDGsに取り組むようになる (SDG11)。これらの知見を活用してアジアの国や都市の低炭素社会シナリオ構築・その実現策を支援中 (SDG17)。また、東日本大震災を契機に福島の復興に取り組み、福島県の再生可能エネルギー計画や飯館村の復興計画推進委員会のアドバイザー等を務めた (SDG7&8)。2015年6月から東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会街づくり・持続可能性委員会の委員および脱炭素ワーキンググループ座長 (SDG11)。主著書に「低炭素社会に向けた12の方策」(日刊工業新聞社)、「みんなの未来とエネルギー」(文溪堂)。2016年4月から地球環境戦略研究機関 (IGES) 都市タスクフォース業務を兼務していたが、2019年3月に国立環境研究所を退職し、4月からIGES専任。

主催: 立命館低炭素戦略研究会
大学院 RP「グローバルガバナンスとエネルギー環境政策」

共催: 一般社団法人国際3E研究院

お問合せ先: 立命館大学政策科学部 岡研究室 (zhou@sps.ritsumei.ac.jp)
(事前申し込み不要)